

こんにちは。西村から2回目のメッセージです。

元気に過ごしていますか？例年なら、GWが始まり、今週はずっといい天気のように、ウキウキする季節となりましたが、今年はガマン、ガマンの日々ですね。インターハイも初の中止となり、本当に残念でなりません。



ずっと家にいるので、今朝久しぶりに出勤するときに、太陽がまぶしくて仕方ありませんでした。日光を浴びないと体内時計が狂ってしまうので、朝、ベランダで体操をすとか、少しでも外の空気を吸う機会をつくらなければ、、、と改めて思います。

私は本来、人に自分のことを話すのが好きではないのですが、先日から「進路を考える」シリーズになりつつあるので、私の進路選択と、英語教員としての思いをみなさんに少しお話ししようかと思えます。

私が高校の英語教員になった理由の一つは、高校生活が部活一色だったので、高校でその競技の指導がしたいと思ったからです。(ただし、今ではマイナーになりつつあり、結局はできずに今に至ります)もう一つは、英語というより外国への憧れがあったからです。私の学生時代は、まだ海外旅行が身近ではない時代、英語教育においてもコミュニケーション能力がそんなに重視されている時代ではありませんでしたし(AETの先生もいなかった時代で、外国人に会う機会もありませんでした)、片田舎で育った私にとって、英語の教科書に出てくる外国は未知のとても遠く遠い世界で、強く憧れを抱いたものでした。



今では、英語の教科書は、扱う国や地域も様々で、文化や言語だけではなく、科学的、社会的な話題や、国内外の諸問題も取り扱うようになっていきます。去年のPOLESTAR Iでも、日本文化、ごみ・光害問題、戦争・国際紛争、新製品開発、人生等、いろいろな話題を学びましたね。すべてのジャンルに興味を持つことはできないかもしれませんが、授業で習って、テストをして終わり、ではなく、ちょっと気にかかったことを調べてみたりすることで、視野をひろげてくれたらな、と思います。

よく言われることですが、英語を勉強することは、英語が話せるようになることが目的ではなく、コミュニケーションツールとして自分の世界を広げることが目的なのです。もちろん、目の前に迫る大学受験を乗り越えるために英語学習は不可欠ですが、今回のことがあって、日本に住んでいても、いい意味でもそうでなくても、世界と関わることなしに私たちの生活は成り立たないことを痛感したのではないのでしょうか。

私の趣味は旅行することなので、しばらく旅行ができないのはとても残念なのですが、早くこの状況が世界的に収束し、また未知の世界を経験できる日を心待ちにしています。



学校に戻ってきたら、何がしたいか、これからの楽しいことを考えて、もう少しみんなで頑張りましょう！